

重 要

事 務 連 絡
令和2年5月15日

横浜市内 認知症対応型共同生活介護
運営法人代表者 様
管理者 様

横浜市健康福祉局介護事業指導課長

入所施設・居住系サービスの利用者・職員に新型コロナウイルス感染症の 疑い事例が発生した以降の対応について（令和2年5月15日更新版）

新型コロナウイルス感染症については、高齢者・福祉施設内感染等でのクラスター感染の事例や死亡例も発生しており、入所施設・居住系サービス*において、集団感染防止及び重症化防止のためにより一層の感染対策を行う必要があります。

このため、本市では、利用者及び職員において症状が発症した場合のサービス提供に係る入所施設・居住系サービスの対応について、別紙のとおりフェーズごとの具体例をお示しします。各施設におかれましては、集団感染防止及び重症化防止に向けた感染対策に万全を期すようお願いいたします。

また、あわせて、介護保険最新情報 Vol. 808「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について(その2)」を再度ご確認ください、あらかじめ必要な対応を想定し準備を行っていただくとともに、感染が確認された場合は、保健所の指示に従い、速やかに感染拡大の防止のために行動してください。

※介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、
軽費老人ホーム、養護老人ホーム、認知症対応型共同生活介護

・「介護事業所等における新型コロナウイルス感染症への対応等について」（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00089.html

・「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について(その2)」(介護保険最新情報 Vol. 808)

<https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryoku/detail-list?bun=020060090>

・「高齢者介護施設における感染対策マニュアル 改訂版」（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf>

・「新型コロナウイルス対応状況チェックリスト（改訂版）」(横浜市)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/fukushi-kaigo/kaigo/kaigo-corona.html>

担当：横浜市健康福祉局介護事業指導課
TEL:045-671-3466（地域密着サービス）

入所施設・居住系サービスの利用者・職員にコロナウイルス感染症の疑い事例が発生した以降の対応について（5月15日更新版）

		<PH1> 発熱等の症状が みられる場合	<PH2> 「協力医療機関」・「帰国者・接触者相談センター」等 への相談の目安に該当	<PH3> PCR検査実施中	<PH4> PCR陽性 (保健所による行動調査※終了前)	<PH5> PCR陽性 (保健所による行動調査※終了後)	
		➡		➡		➡	
		◆以降、保健所の指示に従うこと					
利用者の発症	当該利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染の疑いについてより早期に把握できるよう、日ごろから利用者の健康状態や変化の有無等に留意 	<ul style="list-style-type: none"> ◆以下のいずれかに該当する場合は、協力医療機関や帰国者・接触者相談センター等へ連絡 ○息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合 ○重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合 （※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方 		<ul style="list-style-type: none"> ・原則入院 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則入院 	
	施設の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を検討 ・「陽性」判定が出た場合に備える（<PH4>の準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を決定 ・当該利用者とは接触している職員の出勤停止 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を継続 ・濃厚接触者の職員の出勤停止 	
		◆疑いがある利用者とその他の利用者の介護等に当たっては、可能な限り担当職員を分けて対応すること ◆利用者の活動領域を明確に区分けし、行動範囲を限定すること					
職員の発症	当該職員への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤停止 	<ul style="list-style-type: none"> ◆以下のいずれかに該当する場合は、協力医療機関や帰国者・接触者相談センター等へ連絡 ○息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合 ○重症化しやすい方（※）や妊婦の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合 （※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方 ○上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤停止 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤停止 	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤停止 	
	施設の対応		<ul style="list-style-type: none"> ○上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を検討 ・「陽性」判定が出た場合に備える（<PH4>の準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該職員とは接触している職員の出勤停止 ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者、濃厚接触者の職員の出勤停止 ・新たな入所（ショートステイ含む）の一時休止等を継続 	
		◆疑いがある利用者とその他の利用者の介護等に当たっては、可能な限り担当職員を分けて対応すること ◆利用者の活動領域を明確に区分けし、行動範囲を限定すること					

利用者の状況に応じた対応について（入所施設・居住系）

介護保険最新情報Vol. 808抜粋

1. 感染防止に向けた取組

(1)施設等における取組	<p>（感染症対策の再徹底）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染の疑いについてより早期に把握できるよう、日頃から利用者の健康の状態や変化の有無等に留意 ○ 感染防止に向け、職員間での情報共有を密にし、感染防止に向けた取組を職員が連携して推進 ○ 積極的疫学調査への円滑な協力が可能となるよう、症状出現後の接触者リスト、ケア記録、勤務表、施設内に入入りした者の記録等を準備 <p>（面会及び施設への立ち入り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 面会は、緊急やむを得ない場合を除き、制限すること。テレビ電話等の活用を行うこと等の工夫をすることも検討 ○ 委託業者等についても、物品の受け渡し等は玄関など施設の限られた場所で行うことが望ましく、施設内に立ち入る場合については、体温を計測してもらい、発熱が認められる場合には入館を断る ○ 面会者や業者等の施設内に入入りした者の氏名・来訪日時・連絡先について、積極的疫学調査への協力が可能となるよう記録
(2)職員の取組	<p>（感染症対策の再徹底）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」等を参照の上、マスクの着用を含む咳エチケットや手洗い、アルコール消毒等を徹底 ○ 出勤前に体温を計測し、発熱等の症状が認められる場合には出勤を行わないことを徹底 ○ 感染が疑われる場合は、「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」を踏まえて適切に対応 ○ 職場外でも感染拡大を防ぐための取組が重要。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避ける等の対応を徹底
(3)リハビリテーション等の実施の際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ ADL維持等の観点から、リハビリテーション等の実施は重要である一方、感染拡大防止の観点から、「3つの密」（「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」及び「間近で会話や発声をする密接場面」）を避ける必要 ○ 可能な限り同じ時間帯・同じ場所での実施人数の縮小、定期的な換気、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上の距離の確保、声を出す機会の最小化、声を出す機会が多い場合のマスク着用、清掃の徹底、共有物の消毒の徹底、手指衛生の励行の徹底

2. 新型コロナウイルス感染症に感染した者等が発生した場合の取組

	定義	(1)情報共有 ・報告等	(2)消毒 ・清掃等	(3)積極的疫学調 査への協力等	(4)感染者への対応／(5)濃厚接触者への対応	
					職員	利用者
感染者	医療機関が特定 ・PCR陽性の者	<ul style="list-style-type: none"> 利用者等（利用者・職員）に発生した場合、速やかに施設長等に報告し、施設内で情報共有 指定権者、家族等に報告 	<ul style="list-style-type: none"> 居室及び利用した共用スペースを消毒・清掃。手袋を着用し、消毒用エタノールまたは次亜塩素酸ナトリウム液で清拭等 保健所の指示がある場合は指示に従う 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者等に発生した場合、保健所の指示に従い、濃厚接触者の特定に協力 可能な限り利用者のケア記録や面会者の情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 原則入院（症状等によっては自治体の判断に従う） 	<ul style="list-style-type: none"> 原則入院。高齢者や基礎疾患を有する者等以外の者については症状等によっては自治体の判断
感染が疑われる者	施設等が判断 <ul style="list-style-type: none"> 風邪の症状や37.5度以上の発熱が2日程度続いている者又は強いだるさや息苦しさがある者、医師が総合的に判断した結果感染を疑う者 ※PCR陽性等診断が確定前の者 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者等に発生した場合、「相談センター」（帰国者・接触者相談センター）に電話連絡し、指示を受ける 速やかに施設長等に報告し、施設内で情報共有 指定権者、家族等に報告 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者等に発生した場合、当該施設等において、感染が疑われる者との濃厚接触が疑われる者を特定 	<ul style="list-style-type: none"> 「相談センター」に電話連絡し、指示を受ける 	
濃厚接触者	保健所が特定 <ul style="list-style-type: none"> 感染者と同室・長時間接触 適切な防護無しに感染者を診察、看護、介護 感染者の気道分泌液等に直接接触 	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 自宅待機を行い、保健所の指示に従う 職場復帰時期については、発熱等の症状の有無等も踏まえ、保健所の指示に従う 	<ul style="list-style-type: none"> 原則として個室に移動。個室が足りない場合は、症状のない濃厚接触者を同室に。個室管理ができない場合、<u>マスク着用、ベッド間隔を2m以上あげる等の対応。部屋を出る場合はマスクを着用し、手指衛生を徹底</u> 可能な限りその他利用者とは担当職員を分けて対応 ケアに当たっては、部屋の換気を十分に実施 職員は使い捨て手袋とマスクを着用。飛沫感染のリスクが高い状況では、必要に応じてゴーグル等を着用 体温計等の器具は、可能な限り専用に
感染が疑われる者との濃厚接触が疑われる者	施設等が特定 <ul style="list-style-type: none"> 「感染が疑われる者」と同室・長時間接触 適切な防護無しに「感染が疑われる者」を診察、看護、介護 「感染が疑われる者」の気道分泌液等に直接接触 	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 発熱等の症状がある場合は、自宅待機を行い、保健所の指示に従う。復帰時期については上欄と同じ 発熱等の症状がない場合は、保健所と相談の上、疑われる職員数等の状況も踏まえ対応 	<ul style="list-style-type: none"> ケアの開始時と終了時に、石けんと流水による手洗い等による手指消毒を実施。手指消毒の前に顔を触らないように注意。「1ケア1手洗い」等が基本 <u>有症状者については、リハビリテーション等は実施しない。無症状者については、手指消毒を徹底した上で、職員は使い捨て手袋とマスクを着用し個室等において、実施も可能</u>

※保健所と相談の上、対応
 ※個別ケア等実施時の留意点は別添のとおり